

議会活動 レポート2024

2024年を振り返って

昨年は、町民の皆様には議会に対する温かいご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで、おしゃべりCafeには述べ41名の方々にお越しいただき、楽しい交流とたくさんの情報交換ができました。いただきましたご意見は執行者にもお伝えし、町民の皆様の生の声をお届けすることができました。

県外視察受入れ元年

令和5年度町村議会広報コンクールにおいて、山北町議会広報誌「議会のおと」が奨励賞を受賞し、令和6年2月に表彰されました。

11名の議会広報モニターからの熱意ある叱咤激励と、総力を挙げ紙面改革に取り組む編集スタッフの努力のおかげだと大変うれしく思います。その結果、全国各地から視察の申し込みが相次ぎました。

北は北海道から南は九州まで、10議会から広報広聴活動等をテーマとした視察希望が相次ぎ、まさに視察元年の年でした。

災害時の議会対応

近年、地震等大規模災害が各地で多発しておりますが、いかなる状況の中でも議会活動を止めることはできません。そこで、令和2年に策定した議会BCP(業務継続計画)に従い年1回の議会避難訓練を実施しました。6年度は、町が実施する防災訓練と連動し、南海トラフ地震が発生したと仮定。災害発生時に各議員は、地域に残り地域住民として自治会長等のお手伝いをすることや、被災状況の伝達等に努めるなどの確認をしました。

5月からは新体制で再スタート

任期4年の議会も、前半の2年間が終わろうとしています。5月からは新体制での再スタートとなりますが、町民の皆様には変わらぬご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議長 石田照子

議長のメッセージ動画を議会ホームページで配信しています



広報広聴委員会

町民と距離の近い活動を



児玉 洋一 委員長 池谷 仁宏 副委員長
他 議長を除く全議員(議長はアドバイザー)

委員長のメッセージ動画を議会ホームページで配信しています



当委員会ではこの2年間で、「町民対話と情報発信」を基本理念に、おしゃべりCafeや広報紙発行を始め、動画配信や議会タブレット導入検討など、デジタル技術を活用した新たな取り組みに研修会等を通じて知見を広げました。

これまで積み上げてきた取組みに対し、全国町村議会から表彰され、令和6年度は全国各地から広報広聴活動について視察研修に訪れていただく機会も増えました。

今後も見られる議会を意識しながら、町民と距離の近い広報活動に努めてまいります。

デジタル班の主な活動

◆広報紙「議会のおと」発行(年4回)



「議会のおと」の表紙はアフターコロナを生き抜く町内事業者のご家族が登場

◆広報モニターとの意見交換会(年1回)



意見交換会で、顔の見える関係も大切に



広報モニターは公募により町内11名で構成

アナログ班の主な活動

◆「おしゃべりCafe」の開催(隔月20日)

- 令和6年
- 2/20 三保地区「旧山本十九三邸」
 - 4/20 清水地区「道の駅 山北」
 - 6/20 共和地区「共和のもりセンター」
 - 8/20 山北地区「ふるさと交流センター」
 - 10/20 岸地区「小田原百貨店山北店」
 - 12/20 平山地区「恭月」
- 令和7年
- 2/20 三保地区「信玄館」



「おしゃべりCafe」は町民対話の重要な機会
各地区で抱える課題を議会活動へ

動画配信



一般質問や活動レポート等はYouTube動画で配信中!



チャンネル登録
お願いします!

県外視察の受入れ(広報広聴活動の紹介)

◆県外視察受入れ実績

- 令和6年
- 7/19 埼玉県埼玉葛町村議会議長会
 - 8/5 宮城県南三陸町議会
 - 9/26 福岡県新宮町議会
 - 10/2 福島県大玉村議会
 - 10/21 北海道雨竜町議会
 - 11/1 福岡県粕屋町議会
- 令和7年
- 1/29 千葉県長生郡町村議会議長会
 - 2/12 福島県猪苗代町議会
 - 2/13 福島県西会津町議会
 - 2/18 兵庫県播磨町議会



視察受入れにより、議員間交流や他議会の取組みを学べる有意義な機会となっている

福祉教育 常任委員会

健康長寿と子育て支援の充実を

当委員会では、安心して産み育てることができ、「子育て環境の整備」、高齢者が元気で活躍できる環境づくりや、安心して暮らせる生活支援の充実を図ることができ、「高齢者生活支援」の二つをテーマに掲げ、調査研究を進めてきました。

令和5年度には栃木県高根沢町・那須烏山市を、令和6年度には長野県南箕輪村を視察し、先進的な取組みを学んできました。

2年間の活動を通じて、健康長寿のまちづくりと更なる子育て支援施策など、町に提言をしております。

委員長のメッセージ動画を議会ホームページで配信しています



富田 陽子 委員長
瀬戸 伸二 委員
熊澤 友子 委員

府川 輝夫 副委員長
高橋 純子 委員
石田 照子 委員

1 子育て環境の整備

清水地区園児のスクールバスの調査研究

令和5年に清水地区の保護者から町民ポストに寄せられた、岸幼稚園へのスクールバス同乗の要望に沿うことは難しいと町が返答したことに対し、早急に対応する重要課題であると、調査を進め一般質問を行った。

令和7年度からは同乗できるとの回答を得られたが、山間部の子どもの送迎は大きな課題であり、子育て環境の整備として継続的に調査研究していく。

広めたくなる子育て支援を

- ・子育て支援の制度導入だけでなく進化させていくことが重要。
- ・令和6年度に町が提案した出産・子育て応援プロジェクトも今後調査していく必要がある。
- ・保育士の処遇改善と働きやすい環境づくり、女性の就労相談支援や移住後の生活・就労サポートの取組みが必要と考える。
- ・0歳から15歳までの一貫教育保育の中に、中学生と乳児が触れ合う命の授業交流も取り入れてはどうか。



ママのお仕事相談
～近隣自治体と連携し、子育てしながら働ける場を紹介する細やかな支援～
(長野県南箕輪村)

2 高齢者生活支援

めざせ 健康長寿のまちづくり

- ・ホームページや広報回覧だけでなく、高齢者の生活支援サービスが一つの冊子となって、支援内容や問い合わせ先を分かりやすく周知させる支援が必要ではないか。
- ・世代を超えて誰もが利用できる居場所や高齢者サロンの充実が生きがいに繋がり、フレイル予防にもなる。
- ・高齢化率が42%を超える当町にとって、元気な高齢者を増やす取組みは最も重要。今後も継続的に健康寿命のまちづくりを調査研究していく。



週に一回のいきいきサロンで、誰でも歌える歌と簡単な手足の運動を組み合わせ、フレイル予防に取り組む栃木県那須烏山町

心豊かに暮らせるまちづくりの実現へ

総務環境 常任委員会

当委員会では、2年間の活動として「新東名スマートIC周辺の土地利用計画」、「新たな地域公共交通」を始め、デジタル社会を見据えた「DXの取組み」や「鳥獣対策」など、多岐に渡る課題について調査研究に努めてきました。

コロナ禍を経験し、新たな時代を迎え、この先の社会変化を柔軟に対応していく必要があります。

今後も第6次総合計画に掲げる「心豊かに暮らせるまちづくり」の実現に向けて、しっかりと町に提言してまいります。

委員長のメッセージ動画を議会ホームページで配信しています



大野 徹也 委員長
和田 成功 委員
瀬戸 恵津子 委員

児玉 洋一 副委員長
池谷 仁宏 委員
遠藤 和秀 委員

1 新東名スマートIC周辺土地利用のランドデザイン

官民連携協議会等の発足を

- ・令和9年に開通を控える「(仮称)山北スマートIC」。日本一のバランスドアーチ橋がよいよ繋がる。
- ・しかし、道の駅を始めとした駐車場拡大、元清水小中学校の跡地利用、企業誘致や交通渋滞対策など、周辺土地利用計画は課題が多く残されている。
- ・町の新たな玄関口のランドデザインを描くために、地元住民や有識者、企業を交えた官民連携協議会等の発足が急務。委員会としても積極的に町へ働きかけていく。



いよいよ繋がるバランスドアーチ橋
周辺土地利用計画に協議会の発足を

2 新たな地域公共交通網の整備

デマンドタクシーと循環バスの併用を

- ・令和3・4年度に試験運行を実施した清水・三保地区のデマンドタクシー本運行を推進する。
- ・路線バスや町内循環バスの運行本数やルート変更、共和福祉バスの運行エリア拡大等、利用者のニーズに見合った現行地域公共交通網の見直しは必須と考える。
- ・運行管理にデジタル技術(DX)を取り入れ、国県の補助事業などを積極的に活用することも重要。

足柄上地区広域連携で課題解決を

- ・地域公共交通は近隣市町の連携も必要と考える。
- ・まずは、地域公共交通の広域協議会などを発足し、将来の地域公共交通のあるべき姿を検討していくことも重要。



試験運行していたデマンドバス(令和3・4年度清水・三保地区)
現行の地域公共交通網の全体的な見直しは急務

3 鳥獣被害対策 ジビエ処理加工施設運営の検証

「あしがらジビエ工房」施設の検証

- ・令和5年秋から稼働した「あしがらジビエ工房」の検証。
- ・販路拡大と足柄ジビエブランドの可能性及び行政の関わりについては、引き続き継続調査を進めていく必要がある。



加工された足柄ジビエ肉
販路拡大がこれからの課題